

-
1. 佐地共連総会 6/18（土） 基調講演 市民協 田中尚輝氏 ほほえみ館
 2. みんなの居場所「あらこの家」ふれあいステージ 4/22に開催報告
 3. 4/19 世話人会報告
 4. 熊本地震 南阿蘇村支援「竹田市ベースキャンプ」へのボランティア派遣について
 5. ブロック活動・予定・事務連絡
-

1. 平成28年度佐賀県地域共生ステーション連絡会総会&記念講演

平成28年度佐賀県地域共生ステーション連絡会総会及び記念講演が下記日程で開催されます。

記念講演として、認定NPO法人市民福祉団体全国協議会の田中尚輝氏をお招きし、今後の介護保険制度の行方についてお話していただきます。事業収入の大きなウェイトを占める介護保険事業が今後どうなっていくのか、私たちはどう準備していくことが必要なのか、いっしょに考えていきましょう。総会及び講演会は以下の通りです。（別添チラシ）

日時：平成28年6月18日（土）

13:30～14:50 平成28年度佐賀県地域共生ステーション連絡会総会

15:00～16:30 記念講演

演題「介護保険の変化にどう備えるか!!」

講師 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会

常務理事 田中 尚輝 氏

NPO介護保険事業者・注意！！【田中尚輝氏ブログより抜粋】

介護保険制度は大きく変わっていく。介護保険事業者は変化に対応しないと事業体の危機、倒産につながっていくだろう。つまり、政府は介護保険は重度者（要、4、5）のものにし、それ以下はたすけあい活動によるとし、自治体へ丸投げする意向がはっきりしてきている。だから、介護保険事業で生きのびようとする事業者は、これに対応しなければならない。小規模多機能へ事業を集約し、看護師を雇い、医療との連携を深めることだ。そして、一定地域に狙いを定め、深堀していくことだ。このためには、経営統合が必要かもしれない。NPOはNPOで纏まっていこう。こうして、膨大な軽度者が捨て置かれる。ここがNPOにとって、主戦場にしなければならないのかもしれない。どちらにしても、介護保険事業者は自分の団体の戦略を練らなければならない。早急に。

※総会出欠のご返信をなされていない方は、お早目にお問い合わせ致します。

2. みんなの居場所あらこの家ふれあいステージ4/22報告

NPO法人宅老ちよだあらかこの家は、介護保険事業を廃止し、総合事業を見据えた居場所、通いの場として方向転換をはかっています。4/22には、居場所づくりの広報も含めたイベントが開催されました。地域の方や包括の方、千代田町の生活支援コーディネーターの方、世話人の方も数名訪れています。

また、神崎市福祉課では、背振、神埼、千代田の旧3町でも、にわかには総合事業への備え、住民との話し合い、宅老ちよだの古川氏も交え話し合いがなされています。行政レベルに少しずつですが、総合事業の理解が進みつつあります。事業者や住民レベルへの理解が今後も望まれます。

3. 世話人会報告

4/19、連絡会世話人会を開催、15名の出席となっています。たすけあい佐賀で実施された中部ブロックの交流イベントが好評であったこと、西部ブロックの毎月の独自研修の成果等が報告されています。今年度の佐賀県地域共生ステーション推進事業についてもブロック毎の研修企画に注力すること、会費の見直し、熊本地震への対応、総会時の基調講演などについて話合われています。

次回世話人会は、**6月7日(火) 15時です**。世話人の方はご予約をお願いします。

4. 南阿蘇村支援「竹田市ベースキャンプへの派遣」について

竹田市のベースキャンプ派遣へのご協力誠に有難うございます。派遣協力団体は以下の通りです。

- NPO法人こだま 1名派遣(3日間)
- NPO法人余暇センターきたじま 2名派遣(3日間)
- NPO法人市民生活支援センターふくしの家(1日間)

震災からすでに1ヶ月以上たちましたが、南阿蘇村ボランティアセンターでのボランティア調整には難航を極めているようです。県境の隣町に位置する竹田市ベースキャンプは、南阿蘇村のボランティアの情報を随時集め、南阿蘇村のボランティアセンターと連携しながら、必要な求められる支援に徹しています。但し、今後、梅雨の大雨や、猛暑の到来などありますので、ベースキャンプを経由した支援は、より安心してボランティア活動に励むことができます。

ボランティアが不足しています。月曜日と金曜日は、南阿蘇のゴミ処理の問題でボランティア派遣ができなくなりましたが、その他の日は募集しています。皆様方のご協力をお願いします。尚、現在、朝7時30分には、ボランティアのバスが出発するようになっています。この便の方が南阿蘇村での支援が確実のようです。なるべく南阿蘇村の1便に間に合うよう、前泊宿泊費も合わせて連絡会基金から支援できるよう検討しています。世話人会後に正式にご連絡致します。

佐賀県地域共生ステーションでは支援金の基金口座を開設いたしました。時間はないけれど支援金としてご寄付をご検討の皆様は、竹田市ベースキャンプ基金と合わせ、ご協力をお願い致します。

5/22、23の両日、さわやか福祉財団経由で、中部ブロックひがたの里の伊藤氏、ふくしの家江口氏、未来創造基金山田氏がキャンプの状況を訪問し、ボランティアの受入れニーズを確認しています。

5. ブロック情報・予定・事務連絡・その他

中部ブロック (佐賀市・小城市・多久市・江北町・大町町)

- ◆6月22日(水) 14時、(有)ライフアメニティデイホーム家族にて、佐地共連中部ブロック会議が開催されます。

西部ブロック (武雄市・鹿島市・嬉野市・白石町・太良町)

- ◆5月18日、鹿島交流プラザにて「座って食べよう」と題した、資質向上研修が、ブロック主催で開催されています。
- ◆6月15日、塩田楠風館にて「トイレとお風呂」の介護技術等についての研修会が予定されています。お問い合わせは、NPO法人ほたる(0954-20-2880 担当:ブロック代表の西野)まで。

北部ブロック (唐津市・伊万里市・有田町)

東部ブロック (神崎市・吉野ヶ里町・上峰町・鳥栖市・基山町)

事務局

●総会ご出席の皆様へ

当日は、28年度会費の納入をお願い致します。会費は今年度より1法人5,000円を予定しています。会費変更につきましては当日総会時にて報告と承認を予定しています。

- 地域共生ステーションあり方セミナー(第2回) 8月20日(土) 予定

「地域共生ステーション、地域包括ケアを見据えた準備」

講師 : 社会福祉法人志真会 理事長補佐 津金澤 寛氏

※この日はメートプラザの大ホールを押えています。介護保険改正に備える第2弾となるセミナーです。少し先ですが、この日は皆様、是非空けておいてくださいね。

●検索・必見！！

地域包括ケアシステムの方向性～新しい福祉ビジョン～**検索**

佐賀県がこれまで推奨してきた、地域共生ステーションの考え方と酷似しています。これら報告書は制度づくりの指針になりますので、今後の方向性を探る上で是非一読ください。

●会員様の共生や地域づくりの取り組みをお寄せください。

●ブロック代表、世話人の皆様、会員の皆様、イベント等の活動・予定など随時ご報告ください。

活動報告書を作成しました（別添）。随時MMに掲載いたします。

●国土交通大臣認定 福祉有償運送（セダン含む）講習会開催！！

「移動サービス認定運転者講習」デイサービス送迎の安全運転スキルアップに

第38回移動サービス認定運転者講習会（福祉有償運送大臣認定講習）を5月28日、29日（土日）の両日、さが福祉移動サービスネットワークにて開催いたします。デイサービスの安全運転のスキルアップ、また、今後、総合事業がはじまり生活支援の中の移動支援に関心を寄せていただく上でも受講をお勧めしています。さが福祉移動サービス・ネットワーク（ふくしの家 0952-36-6865 又は、ふくしの家HPから申込み用紙をダウンロード）にお申込みください。

●事故にはくれぐれもご注意ください。

デイサービス事業所で、内部研修で安全運転講習を企画される場合は、ご連絡ください。

●書籍販売（総合事業への取組の参考テキストにどうぞ）

◆住民主体の生活支援サービスマニュアル3「居場所・サロンづくり」

公益財団法人さわやか福祉財団 編 1,200円

※10冊入荷しました

◆住民主体の生活支援サービスマニュアル6「移動・外出支援」

特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク 編 1,200円

※たくさんあります。

●介護保険新時代にどう向き合うか（ふくしの家会報より抜粋）

28年度が始まりました。27年度マイナス改定の影響もあってか介護保険事業所の倒産件数が過去最高という見出しの記事や合併や吸収などといった言葉も耳にするようになりました。人口減少による人手不足の波に加え、介護事業者の不祥事を取り上げたマスコミ報道は3Kの代名詞としてより大きく誇張されました。さらに国の関係審議会では、医療介護同時改正の30年に向かって28年度末までに結論を出す法案の審議がすでに始まっています。

歯止めがきかない介護費の急増から、給付費を抑えることが最大の目的で、将来へのつけを回避するという財務省案にはすでに説得力さえ感じられます。もう大方の方向性は決まっているようで30年に要介護2まではないとしても、近い将来実施するための前哨戦としてのPRとも受け取れます。

公表価格以下で報酬を設定する事業者もなく、国がねらった市場競争は皆無であり（指定基準内に一切の創意工夫が認められない中で、競争原理だから報酬価格だけ下げてほしいという感覚にも無理があると思うのですが・・・）給付にぶらさがり経営でよとする事業者が増え続けました。18年からの介護予防事業も認定率が下がるなどの予防効果を上げた市町村わずかで費用対効果が得られなかった（失敗

だった)と国も認めています。これまでの介護保険事業のあり方は大きく見直さざるを得ないわけですが、この変化に対応できない事業者も出てくることが予想されます。

厳しくなりますが、やっと介護保険の本丸に入っていくことにもなります。公の制度と民間の創意工夫が活かされて、はじめて質の確保にもつながりますし、そうでなければ、今後、多くの団塊の世代が後期高齢者となったときのサービスニーズには、おそらくマッチしていかないでしょう。

「究極のサービス業」の序の口というところでしょうか。皆さんのお力をいただきながら一歩進んだという年度にしていければと思います。

.....
～地域福祉推進拠点のネットワーク～

佐賀県地域共生ステーション連絡会

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3番20号 (鍋島シエストハーモニービル3F)

認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家事務局内

TEL: 0952-36-6865 FAX: 0952-36-6895

メール: fukushinoie@world.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.fukushinoie.jp>

※メールアドレスが不明なところにはファックスにて送信しております。

※ファックス受信の事業所様は、お手数ですが、上記メールアドレスにご返信ください。

※このMMニュースは、関係行政機関にも配信しています。